

リーダー☆インタビュー

RECYCLING FACTORY
MARUEI

株式会社丸栄 代表取締役

すわ たけはる
諏訪 丈晴 氏



「当社が少しでも環境の浄化に役立ち、地域社会に必要とされていることが、社員全員の誇りです」と話す諏訪社長



所在地 久喜市桜田5-18-9
代表者 代表取締役 諏訪 丈晴 氏
事業内容 製鋼原料、非鉄金属の加工処理および販売
産業廃棄物の収集運搬・処分
資本金 1,000万円 従業員数 40名
TEL 0480-58-1027
<https://www.eco-maruei.com>



資源リサイクルで地球環境保護に貢献する同社の諏訪社長に話を伺いました。

★貴社の概要について、教えてください。

諏訪 当社は廃棄物処理・リサイクル業の専門企業です。1947年の創業以来、時代の変化とともに進化を遂げてきました。ただ“捨てる”のではなく、限りある資源を“生かす”という視点から、さまざまな廃棄物に対して最適な処理とリサイクル方法を提案し、資源循環型社会の実現に大きく貢献しています。対応エリアは広く、鉄スクラップ買取は日本全国が対象です。産業廃棄物も全国各地からお持ち込みいただいており、収集運搬につきましては埼玉県の他、東京都、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県にて引取対応が可能です。2002年には、ISO14001を取得し、常に更新をしています。リサイクル業そのものがISO14001とリンクしており、当社が事業を拡大すればするほど、資源リサイクルにつながるので、その分、地球環境保護に貢献することになります。

★貴社の強みは何ですか

諏訪 鉄スクラップの処理では、しっかりと分別で精度の高い製鋼原料を提供するとともに、破碎・切断・圧縮の三つの大型設備を備えており、大型の廃棄物も迅速に処理できます。

また、埼玉県内で5社しか持っていない自動車リサイクルの破碎業の許可を取得しています。自動車リサイクル法に準じ、リサイクルできる素材は可能な限り回収し、またリサイクルできないシユレッダーダストについては指定の再資源化機関へ出荷しています。

鉄など特定の材質しか受け付けないリサイクル業者が多い中、当社では、鉄以外にもプラスチックやゴム、ガラスなど多様な材質の廃棄物処分業許可を取得していますので、複数の材質が混在する廃棄物もそのまま受け入れ、当社で選別・処理を行っています。これにより、依頼者は分解・分別の手間が省けるので重宝されています。

「他社で断られた」「処分に困っている」そんなときは、ぜひ当社にご相談ください。お客様のニ

資源リサイクルを通じて社会に貢献する！



シュレッダー選別ライン



大型プレス機



油圧ジャー



大型シュレッダー



野田工場（千葉県）

ーズに応える柔軟な対応力と、安心・安全・信頼のサービスで、最適な解決策をご提案します。

★CO₂削減に大きく貢献しているそうですね。

諒訪 大手製鋼所のように、高炉を使って鉄鋼石から鉄を生成する場合、1tの鉄をつくるのに2t超のCO₂が発生しますが、当社のようなリサイクル業社が提供するスクラップ原料から電炉で1tの鉄をつくる場合はCO₂が約0.6tでマイナス1.39t(基準の計算方法が変わり2025年4月からマイナス1.28tと公表)ととても少なく、当社の取り組みがCO₂削減に大きく貢献しています。

さらに、CO₂削減の観点から、電力自由化をきっかけに、当社で使用する電気を再生可能エネルギーのバイオマス発電に切り替えるなど、いち早く環境に配慮した取り組みを導入しました。

★危険な部分もあるのでしょうか

諒訪 そうですね。産業廃棄物として集荷した中に、危険物が混入している場合があります。それ

を知らずに破碎・切断・圧縮をすると爆発を引き起こしたりしますので、燃料タンクを取り外すとか、カセットボンベ等の異物を取り除くなど、事前の展開検査は、とりわけ細心の注意をもって行っています。

皆さんがゴミとして何気なく捨てているものでも火災が起きる場合がありますので、捨てる際には、製品記載の処分方法を確認して、ルールを守って捨てていただけると助かります。

★今後の展開・抱負は

諒訪 選別後に残った、今までゴミとして処分していたものについても、できるだけ有価物として活用できないか他社に先駆けて研究をしています。資源が増えるだけでなく、ゴミの減量にもつながる一石二鳥の取り組みです。

今後も、ますます高まる「環境負荷軽減」「カーボンニュートラル」への意識に応えるべく、さらなるリサイクル率の向上とCO₂削減に貢献していきたいと思います。

(敬称略)